

国土交通大臣賞
「事業所・地方公共団体等」分野

受賞者名

戸田建設・溝江建設共同企業体

熊本再春荘病院外来治療棟等更新築整備工事（建築）

取組の実践場所

熊本県合志市

受賞テーマ

再生可能資源の活用

(1) 活動内容

既存病院の解体工事から発生するコンクリートがら約 20,000m³ および新病棟新築工事の杭工事から発生する建設汚泥（杭残土）約 3,000m³を場内で再生利用することで、場外処分する廃棄物をゼロとした。

(2) 取組のポイント、特長

当初は発生する廃棄物の処分は場外処分との契約であったが、熊本地震直後の震災復興工事で場外処分場の受入が困難な状況を踏まえ、場内再生利用を発注者に提案し、実施することで震災復興を阻害せずに廃棄物をゼロとした。さらに場外処分に係る運搬車両からのCO₂削減に貢献した。

大量に発生するコンクリート塊は、場内で細かく砕き、碎石へ再生利用できる機械を設置し、外部で購入する再生碎石と同等の品質を確保することで場内の仮設通路や舗装路盤で使用した。

(3) 他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところ

廃棄物の自ら利用、場内再生利用は廃棄物の不適正処理につながるおそれがあるが、適切な計画（処理方法、品質管理、有害物質分析確認、利用目的等）を立て、熊本県庁と相談しながら進めることで適切な処理、リサイクルを実現した。

杭残土を国土省のガイドラインに沿った形で、自ら使用した。建設汚泥はセメント系固固化材を使用して安定処理した後、所定の品質になるまで場内で保管した。セメント系固固化材は六価クロム対応型を用い、事前に溶出試験を実施して安全性を確認した。埋戻しに利用できる土の品質を第三種処理土と設定し、第三種処理土の要求品質にあたるコーン指数：400kN/m²以上であることを確認してから埋戻しを行った。

(4) 今後の予定

社内で本件の活動を水平展開することで、他現場においてもコンクリート塊、建設汚泥の場外処分の削減が進み、さらに大きな成果が期待できる。

■コンクリート塊の場内再生利用



既存建物解体



CON 塊破砕



再生碎石を現場内敷均し

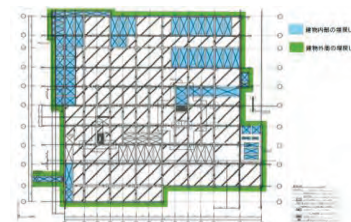
■建設汚泥の場内再生利用



建設汚泥の改良



改良土の品質管理



改良土の場内利用箇所